

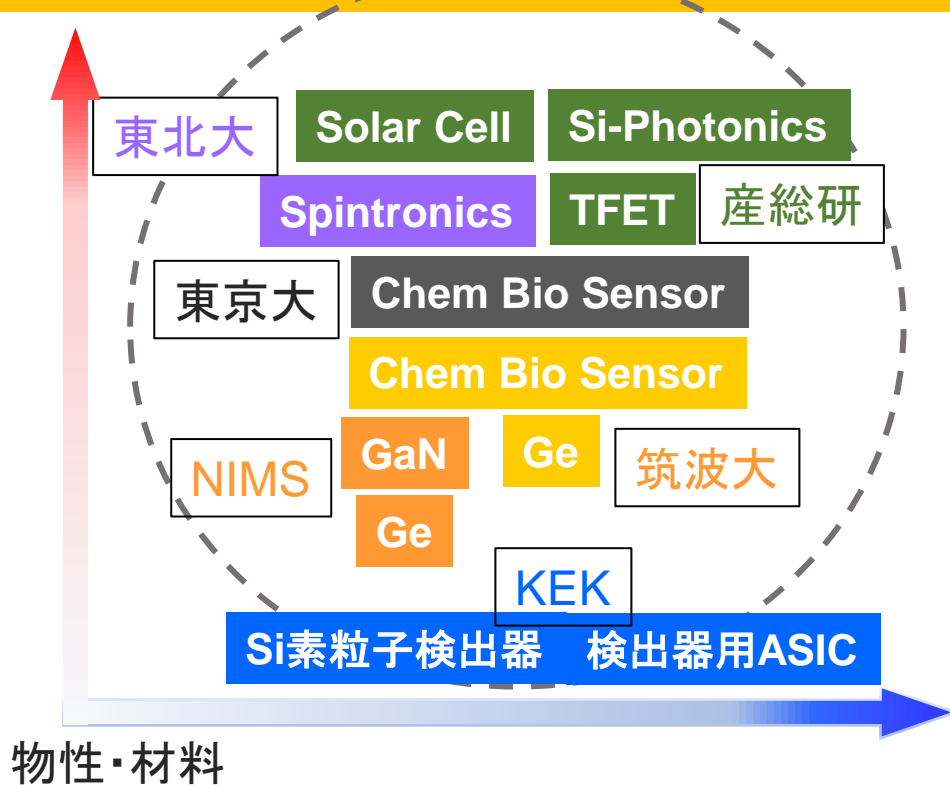
題目：WITHコロナ時代の連携推進プラットフォームの基盤確立

調査研究代表：南 豪（東京大学）

産総研代表者：水林 亘

・既成の学会や研究会にない、極めて幅広い分野にわたるエマージングトピックスを扱う魅力的なセミナーシリーズを開催し、幅広いエレクトロニクス分野から若手メンバーを集結して新しい発想につながる活発な議論を巻き起こす。

・今年度は若手研究者を中心とした対面での講演会の開催を重点に、WITHコロナ時代による閉塞的な環境のため若手研究者の連携が困難な状況を打破する連携推進の形を探索する。



TIA Emerging electroniX
research Alliance

各機関の委員の保有技術の軸にセミナーなどを通じて参加者や自身の連携推進を試みている

コロナ感染が継続する社会状況にあって、オンラインセミナーの開催のみでは、広い研究分野の人が集まっても連携状態にするのは困難！

課題に対して重点活動テーマ設定

次世代エレクトロニクスの創成



回路

電子・光

結晶成長

基礎物理

化学・バイオ

外部資金



連携プロジェクト

TIA-EXA活動の拡大
(連携プラットフォーム)

広域エレクトロニクス融合セミナーを通じた
若手の広域連携プラットフォームの形成

計測

センサ

パワエレ

AI

自動運動

量子

宇宙

【年間活動計画】

1. 調査研究員がホットピックスを抽出したうえで連携研究が期待できるテーマを中心に**対面**でのセミナー開催(複数回)に挑戦する
2. TIA-EXA入会者とのコミュニケーション機会を設ける
3. 連携活動資金を外部資金から調達に挑戦する。

1. 広域分野の連携が対面セミナー等での出会いにより生まれることで、ポストムーアなどの従来の視点にとらわれない次世代エレクトロニクス分野が創出されることを期待
2. 対面重視のセミナー、会員コミュニケーションイベントを開催することで、若手研究者のよ深く強い連携が生まれる
3. 活動資金を外部に求めることで、活動自身の活性化、拡大を図る